



7.7【月】

17:00~19:00

京都市立芸術大学中央棟 3F 講義室 1

※参加無料（事前申込不要）

ヨコハマトリエンナーレ 2014

「華氏 451 の芸術：世界の中心には忘却の海がある」

“ART Fahrenheit 451: Sailing into the sea of oblivion”

会期：8.1【金】-11.3【月・祝】

主会場：横浜美術館，新港ピア（新港ふ頭展示施設）

横盗り物語／ヨコハマトリエンナーレに託すもの

森村泰昌特別授業

京都市立芸術大学美術学部・芸術資源研究センター共催

本学客員教授であり、ヨコハマトリエンナーレ 2014 でアーティスト・ディレクターを務める森村泰昌氏による特別授業を行います。

今回は開催目前に迫ったヨコハマトリエンナーレについてお話しいただきます。ぜひご参加下さい。

Morimura
Yasumasa

森村泰昌略歴

1951年、大阪市生まれ、同市在住。京都市立芸術大学美術学部卒業、専攻科修了。

1985年、ゴッホの自画像に扮したセルフポートレイト写真を発表。以後、一貫して「自画像的作品」をテーマに、美術史上の名画や往年の映画女優、20世紀の偉人たちに扮した写真や映像作品を制作している。

1988年、第43回ヴェネチア・ビエンナーレ、アペルトに出品したほか、国内外で多数の展覧会に出品している。

主な個展に、「美に至る病—女優になった私」（横浜美術館、1996年）、「空装美術館—絵画になった私」（東京都現代美術館、他2館、1998年）、「私の中のフリーダ／森村泰昌のセルフポートレイト」（原美術館、2001年）、「美の教室、静聴せよ」（熊本市現代美術館、横浜美術館、2007年）、「Requiem for the XX Century. Twilight of the Turbulent Gods」（La Galleria di Piazza San Marco、ヴェネチア、他ニューヨーク、パリに巡回、2007、2008年）、「なにものかへのレクイエム—戦場の頂上の芸術」（東京都写真美術館、他3館、2010、2011年）、「森村泰昌展 ベラスケス頌：侍女たちは夜に甦る」（資生堂ギャラリー、2013年）、「森村泰昌 レンブラントの部屋、再び」（原美術館、2013年）、「Theatre of Self」（ウォーホル美術館、2013年）、など。

文筆活動も精力的に行っており、近著に『森村泰昌「全女優」』（二玄社、2010年）、「まねぶ美術史」（赤々舎、2010年）、「対談集 なにものかへのレクイエム—20世紀を思考する」（岩波書店、2011年）など。

2006年度京都市文化賞・功労賞、2007年度芸術選奨文部科学大臣賞、2011年に第52回毎日芸術賞、日本写真協会賞・作家賞、第24回京都美術文化賞の各賞を受賞。同年、秋の紫綬褒章を受章。2013年に平成25年度京都市文化功労者として表彰を受ける。

<お問い合わせ先>

京都市立芸術大学 教務学生課（美術教務担当）
〒610-1197 京都市西京区大枝杏掛町 13-6
tel 075-334-2220 fax 075-334-2345

京都市立芸術大学

芸術資源研究センター

ウェブサイト <http://www.kcua.ac.jp/arc>facebook <https://www.facebook.com/kcua.ac>